

## 第4回猪風来縄文塾『縄文式竪穴住居』

現在猪風来美術館広場で縄文式竪穴住居「縄文<sup>だいち</sup>大地<sup>きばあん</sup>の気場庵」づくり進行中！

大地のふところに抱かれるように作られる竪穴住居は「大地の子宮」「生命が生まれ育まれる場所」でもあります。縄文の文化や造形美は大地に根ざした竪穴住居の暮らしから生まれました。実際の竪穴住居づくりに関わる中でこうした縄文の心と技を学びたいと思います。

「縄文大地の気場庵」づくりは、盛土・周堤づくりを終えて、次の作業の「御柱立て・棟上げ作業」の段階にはいります。7本のクリ材の御柱を穴の中に人力で立ち上げ、その上に梁・桁材を組んで、棟木を上げます。みんなで力を合わせてしっかりと屋台骨を完成させていきたいと思っています。

### その2「御柱立て、棟上げ」

日時 2017年5月21日（日）

5月23日（火）

午前10時～午後4時頃

場所 猪風来美術館創作館・広場

参加費 無料

申し込み 前日までに猪風来美術館へ（Tel0867-75-2444）

※昼食は各自持参。外作業ができる服装でおいでください。

※各自都合の良い日時でご参加よろしく願いいたします。

〈これからの縄文塾の予定〉

### その3「屋根茅葺き」7月末～9月頃

10月8日（日）の「秋の縄文野焼き祭り」までの完成を目指します。  
この日の「オープンセレモニー」にはホピ族のルービン氏も参加予定です。

12月22日の冬至に「縄文<sup>だいち</sup>大地<sup>きばあん</sup>の気場庵」にて「冬至<sup>とうじまつり</sup>祭り」を予定！

「縄文大地の気場庵」は冬至の日の入り方向に入口を設けます。  
まさに冬至の太陽が山に落ちる瞬間 光が入口から炉の中心に差し込み  
炉に抱かれます。

**感謝！** 3月28日と4月2日の「木の皮むき・盛土作業」には大勢の方々に参加していただき、ありがとうございました。お陰様で準備が着々と進んでおります。